

青森県介護現場課題解決会議

あおり介護生産性向上相談センターの伴走支援の取組について

【伴走支援】

青森県モデル事業所に対し、業務改善の取組を通じて得たノウハウや経験、成果を他事業所の参考としてもらうこと等を目的に伴走支援を行っている。

1 令和7年度取組報告

- (1) 実施期間 令和7年8月から令和8年3月まで
- (2) テーマ「介護テクノロジーを活用して業務改善を目指す」
- (3) 各モデル事業所の取組みテーマ
 - ①社会福祉法人貴望会 特別養護老人ホームなのはな苑
(上北郡横浜町)
「役割分担と介護ソフト活用で実現したゆとりと根拠のあるケア」
 - ②社会福祉法人もみじ会 デイサービスセンターにこにこプラザ六戸
(上北郡六戸町)
「インカム活用と誘導基準の明確化による入浴業務改善」
 - ③社会福祉法人徳望会 見心園居宅サービスセンター
(三戸郡階上町)
「インカムでの連携とリーダーの采配で生まれた現場のゆとり」
- (4) 成果報告会
令和8年3月3日（火）、ウェディングプラザアラスカ（青森市）で開催



2 令和8年度取組みスケジュール

時 期	内 容
7 月	○当センター及びアドバイザーによる初回訪問・面談 ・事業概要説明 ・現場の課題感聞き取り等
	○各事業所においてキックオフ宣言
7～8 月	○現場から課題を抽出し、見える化。課題を絞り込む
9 月	○業務の棚卸を行い、実行計画立案
10～12 月	○改善活動（計画した改善策を実施する）
1 月	○実施された改善の効果を評価する（前後比較のアンケートなど）
2～3 月	○振り返りと成果報告。次の改善活動へ。